



平成
30
年度

青少年健全育成茨城県推進大会

大会概要

主催 茨城県
公益社団法人茨城県青少年育成協会
青少年育成市町村民会議

協賛 ライオンズクラブ国際協会 333 -E 地区

日時 平成31年2月6日(水) 13:00 ~ 15:40

会場 茨城県立県民文化センター 大ホール

参加者 市町村民会議関係者 青少年育成関係者
PTA・学校・保育所・幼稚園関係者、
県・市町村関係者、一般県民等 約1,500名

内容 ○中学生の主張発表
○実践活動発表
○講演

● 活動助成金贈呈

青少年健全育成県民運動推進のために、ライオンズクラブ国際協会 333 -E 地区(根本昌卓地区ガバナー)から県青少年育成協会に対し多額の活動助成金の贈呈がありました。



● 中学生の主張発表

平成30年度少年の主張茨城県大会において、優秀な成績を収めた2名の中学生が発表しました。



(左) ばら野学園 那珂市立第一中学校3年 青木大翔さん
(右) 龍ヶ崎市立城南中学校3年 菅原千聖さん

● 実践活動発表

「親が変われば、子どもも変わる」運動推進事業
「身近な方から学ぶ大人のモラル向上」
～大人が変われば、子どもが変わる～
下妻市 PTA 連絡協議会

子どもたちのより良い教育環境づくりに向け、親としての望ましいあり方について考える「教育懇談会」について、その成果を発表しました。

前年度に「大人の良い行動・改善して欲しい行動」について市内小中学生から出た意見をまとめ、今年度はそれを踏まえ、身近な3人の体験談とテーマ別にグループで話し合いを行いました。

身近な事例を自分と比較したり、置き換えたり、大人としてあるべき姿を考える機会となりました。



● 講演

「子どもの SOS きこえていますか」
ジャーナリスト 九州女子短期大学非常勤講師
秋山 千佳 氏

子どもの貧困や虐待について、全国の中学校の保健室を取材した講師のお話は、子どもには「手間ひま」をかけて自己肯定感を育むことの大切さなど、子どもとの関わり方を改めて考えさせられる時間でした。

